

2026年度AIFAレフェリーアカデミー 活動報告

6月13日(土)に、「第4の審判員の任務を遂行する際の役割を確認し、技術を向上することができるようにする。」という目的で研修会を実施しました。3A カテゴリーの審判員を対象に、東海社会人サッカーリーグの試合を観戦しました。第4の審判員の役割や主審、副審との連携を確認することができました。試合後には担当審判員との振り返りにも



参加し、アセッサーからの指導・助言を聞いたり、質問をしたりし、技術の向上を図ることができました。今後も研修会を通して、レフェリング技術の向上に努めていきます。

【参加者からの感想】

〈安藤 蓮 審判員〉

今回の研修では、試合を観戦しながら 4th オフィシャルがどのような役割を担っているのかを学びました。気になった点は仲間と意見を交わし、その後 4th を担当されていた方から、行動の意図や判断の背景について詳しく伺うことができました。4th の動きが主審の質にも影響することを知り、今後の審判活動では 4th の所作にも注目しながら自身の向上に努めたいと感じました。

〈神邊 良明 審判員〉

今回の研修会では、第4の審判員の役割にはどのようなものがあるのかを学ぶための観戦研修を行いました。実際に第4の審判員の動きを見て自分ならどうするかを考えたり、何故その動きが必要だったのか考えたことを他の審判員と意見交換したりしながら学びを深めることができました。研修の後半では、実際に試合を担当した審判員に気になった点や疑問点を質問することができ、自分の引き出しを増やすことができました。今回の研修会で学んだことを次のシーズンでも遺憾無く発揮していきたいです。最後に、このような研修会を計画、実施してくださった関係者の方々、本当にありがとうございました。